

第21回

医療安全の確保講習会を開催



講習会のようす

ある。手指消毒のボトルはアクセスしやすい場所に設置するか、あるいは配布して個人持ちにしたほうが手指衛生の実施率は上がる。

次に重要となるのが个人防护具である。个人防护具にはゴーグル、マスク、エプロン、グローブなどがある。グローブは汗を除く体液、粘膜、傷のある皮膚に触れるケアの際には必ず装着すべきである。エプロンを装着すべき場面は体液や病原体が飛散する可能性がある場合である。ゴーグルは体液や病原体が激しく飛散する可能性がある場合に装着するべきである。

② 体液暴露後の対応とは

対応が必要となる体液暴露は汗を除く体液（血液、組織液、唾液、涙液）が粘膜や傷のある皮膚（噛まれた、刺して出血があったなど）に接触した場合である。暴露事故で感染しうる主なものにHBV、HCV、HIVがある。暴露事故による感染率はHBV 300/1000、HCV 30/1000、HIV 3/1000とアルファベット順に感染率が減る。暴露事故の際には、まず、冷静に同僚や上司を呼び、次に危険物を安全に破棄し、最後に汚染部位を洗浄する。その後、暴露源の感染性を血液検査で確認し、感染性が不明な場合は経過観察とし、感染性があれば次に述べるように感染症別に対応する。

③ ワクチンは暴露前対応

標準予防策のみで対応が可能であるHBVのような感染症に対するワクチンが必要ない理由のポイントとして①防護具だけでは不十分②働ける職員が不足する③残った職員が大変になるなどが挙げられる。

HBVワクチンは3回接種を1シリーズとする。HBs抗体の陽転化率は1シリーズ90%、2シリーズ95%である。HBVワクチンを2シリーズ接種しても10 mIU/mlにならない場合はNon-responderと呼び、暴露時には緊急対応が必要であることを認知しておくことが大切である。

標準予防策に加えて感染経路別対策が必要となってくる。感染症に対するワクチンが必要ない理由のポイントとして①周囲の患者に影響する②（陰圧）個室が減る③防護具の脱着が大変④妊婦の命に関わる、胎児の発育にも関わる⑤職場の人間関係が壊れる⑥緊急対応が間に合わない⑦社会的な問題となる⑧病院存続に関わるなどが挙げられる。

麻疹・風疹・ムンプス・水痘ワクチンは原則2回接種で99%に有効な抗体が得られる。

以上

林先生の講習はユーモアが所々に散りばめられ、とても楽しく、またわかりやすかった。コロナ禍も終わり気が緩んできていたので、手指衛生の必要性やワクチンの重要性についてあらためて気づくことができ、とても有意義な90分であった。

（研究部・歯科 部長 狩野証太

林俊誠先生



林俊誠先生

物価高騰に関する医療機関の緊急影響調査
～ご協力をお願い～

当協会では物価高騰による医療機関への影響を把握し、医療機関への財政措置を実施させる要請等に役立てるため、グーグルフォームによる緊急調査を実施します。是非アンケートにご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

右記 QR コードまたは下記 URL から回答
フォームに入力の上、ご回答ください。

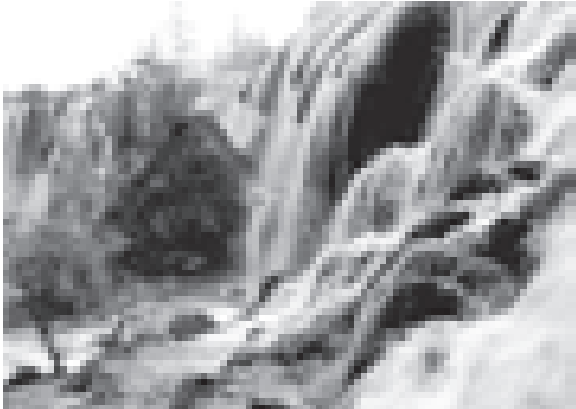
<https://forms.gle/yN2iLkeXaDtHmSnZ9>

回答期限：2月28日（金）まで



お問い合わせ 群馬県保険医協会事務局 ☎027-220-1125

第32回保険医写真展 自由部門 奨励賞



「赤城神社参道松並木雪景色」 武井 克己／館林市・たけい小児科・アレルギー科

所用があり赤城山麓に向かった2023年2月、予期せぬ降雪に慌てました。しかし赤城神社参道の松並木に目を向けると、そこには水墨画の世界が広がり、息をのむ美しさに感動しました。

次回第33回保険医写真展は
7月開催予定です
課題「建築物」

笠間つつじ公園（茨城県）

茨城県笠間市。絶景の旅

第24回
撮影バス旅行

主催／群馬県保険医協会・文化部

2025 4.27日

笠間つつじ公園・笠間稲荷神社・石切山脈

※詳細は、全国紙3月5日号に同封の
チラシをご覧ください

